

授業科目 運動指導法実習7 (バレーボール)

【担当教員名】 五十嵐 正美	対象学年	3	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
バレーボールに関する技術及びルール、審判法等の知識や理論を学ぶとともに、その指導法を理解する。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. バレーボールの競技特性を理解する。
  2. バレーボールのルールを理解する。
  3. バレーボールの基礎トレーニングとその指導法を学ぶ。
  4. バレーボールの攻防の個人的技能を学ぶ。
  5. バレーボールの攻防の集団的技能を学ぶ。
  6. 試合等の総合練習を通して競技能力を高める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	授業ガイダンス、バレーボールの特性理解		講義・実技
2	簡易ゲーム		実技・グループワーク
3	オフェンスの個人技能練習 (パス)		講義・実技
4	オフェンスの個人技能練習 (パスとレシーブ・トス)		実技・グループワーク
5	オフェンスの個人技能練習 (スパイク・サービス)		実技・グループワーク
6	ディフェンスの個人技能練習 (パスアタックのレシーブ、スパイクのブロック)		講義・実技
7	ディフェンスの個人技能練習 (サービスレシーブ)		実技・グループワーク
8	個人技能を中心とするゲーム		実技・グループワーク
9	攻撃の連携プレイ練習 (3段攻撃・時間差攻撃等)		講義・実技
10	防御の連携プレイ練習 (サーブレシーブからの攻撃、カバーリング等)		講義・実技
11	連携プレイ中心のゲーム		実技・グループワーク
12	オフェンスの組織的プレイ練習 (フォーメーション等)		講義・実技・グループワーク
13	ディフェンスの組織的プレイ練習 (サービスレシーブ又はスパイクレシーブからのフォーメーション)		講義・実技・グループワーク
14	総合的な試合及びルール、審判法の学習		実技・グループワーク
15	総合的な試合及び審判法の学習、学習のまとめ		実技・感想文

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特になし			
参考書	特になし			
その他の資料	毎時間、教師が指導資料を作成、使用する。			
【評価方法】 出席状況、授業態度、技能、知識・理解力から総合的に判定する。	【履修上の留意点】			